

令和6年3月27日

新居浜市長 石川 勝行 様

新居浜市廃棄物減量等推進審議会
会長 坂上 公三

「持続可能なごみ適正処理の確保に向けて」について（意見書）

本市ごみ処理の大きな課題であるごみ減量に向け、令和4年10月に実施した家庭ごみ一部有料化は、3Rネットワーク制度導入とあわせ、期待以上の効果が得られ、本審議会として一步前進したと評価いたします。

一方、全国比較では、なおごみ減量の余地が大きく、また、近い将来、ごみ処理経費の増加が大きな問題になることが予想され、次に取り組むべき課題も明らかになりました。

このようなことから、本審議会は、ごみの適正処理を安定的に継続させていくために今後、市が取り組むべき事項として、以下の点について意見します。

- 1 更なるごみ減量と効率的かつ安定的な適正処理体制の構築に取り組んでください。
- 2 「にいほま3Rネットワーク」などによる民間リサイクルルートとの連携を更に進めてください。
- 3 ごみ減量と歳入確保の観点から、家庭ごみ定期収集の有料化及び直接搬入ごみ手数料の見直しの検討を具体的に進めてください。
- 4 市民の皆さんが課題を把握できるよう、新居浜市のごみ処理状況・経費について分かりやすい情報発信に努めてください。